

令和4年7月19日

山県市立小・中学校保護者の皆様

山県市教育委員会

新型コロナウイルス感染再拡大時における一時的な対応について

日頃は、学校教育活動へご理解、ご協力いただきありがとうございます。

学級閉鎖の対応について、感染再拡大時（1日あたりの新規陽性者数が1週間平均700人を超えた場合）においては、保健所の業務がひっ迫することから、通常保健所が学校に対して行っている濃厚接触者の特定や集団検査が行われないことになりました。その代わりに、教育活動実施期間に陽性者が判明した場合には、学校が、校医や教育委員会等と協議の上、自宅待機要請者を決定することになります。

7月18日現在、1日あたりの新規陽性者数は1週間平均で1023.9人のため、感染再拡大時に該当します。よって、以下の措置をとりますので、ご理解の上、対応願います。

1 感染再拡大時（1日あたりの新規陽性者数が1週間平均700人を超えた場合）の対応

(1) 陽性者が1名判明した時点で、**自宅待機要請者が決定するまでの期間、必要に応じて一時的に学級閉鎖を行う。**

①自宅待機要請者とは、次のいずれかに該当する児童生徒

- ・陽性者の発症日（または陽性判明日）の2日前までの間に、1m以内の距離で互いにマスクなしでの会話があった児童生徒
- ・向かい合って一緒に飲食をした児童生徒

②自宅待機要請者は、陽性者との最終接触日を0日として7日間が経過するまで原則登校しない

(2) 自宅待機要請者決定後、感染の拡大状況に応じて、学級閉鎖の継続・解除を決定する。

<参考> 下記、従来の学級閉鎖の対応は継続します。

(1) 陽性者が同時期に2名以上判明した場合、速やかに学級閉鎖（自宅待機）を行う。

ただし、小学校1年から3年の学級で20名以上児童が在籍する学級においては、陽性者が1名判明し、発熱等の症状がある児童が2名以上いる場合にも速やかに学級閉鎖（自宅待機）を行う。

(2) 学級閉鎖の期間は、陽性者と最後に接触した翌日から原則4日間とする。

ただし、接触日から4日目午前中までの感染状況を確認し、感染拡大の傾向にある場合には、学級閉鎖期間を延期し、原則5日間とする。

2 連絡等について

- ・上記1の(1)①にある自宅待機要請者を特定する必要があるため、陽性者になった児童生徒又は保護者の方へ学校から聞き取りをすることになりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。ただし、教育活動を行っていない期間については、学校が自宅待機要請者を特定することはありません。
- ・2学期以降も、現在のように1週間平均の感染者が700人以上の場合には、上記の措置をとります。